水道局から断水のお知らせ

水道局では、水の濁りをなくするために、別表の日程で**配水本管の洗じょう清掃**を実施することにしました。

この清掃作業にともない、作業時間中、断水や圧力低下があったり、作業終了後も一時的に**水が濁る**ことがありますので、下の表をよくごらんのうえ、作業当日は格段のご協力をお願いします。なおこの日程にない区域は、状態によって随時実施されますので、その都度みなさんにお知らせします。

① 作業の影響をうける地域のかたへ、作業当日は**午後9時**から断水しない場合でも**水を使用しないでください。**影響のある区域全部が断水するわけでなく、圧力が低くなりますが、水の出る場合もあります。

この場合でも、作業時間中に水を使いますと、各家庭の給水管に濁り水がはいり、作業が終わっても長時間きれいにならないことがあります。

② 翌朝水を使いはじめるときには、水がきれいになっているかどうかを確かめてから、使用してください。

いきなり洗たく物に水をはりこむことなどのないよう、じゅう分ご注意ください。

（作業時間はいずれも夜9時から翌朝午前3時までです）

期　日	影響のある区域（断水、減圧、濁り等）	作業を実施する配水管
6月5日	旧金津、小合、新関、草水、山谷、天神、古田、新栄町、山谷町1、2、3丁目、南町1、2区	浄水場～配水池
6月6日	旧金津、小合地区全域、新栄町、山谷町1、2、3丁目、南町1、2区、古田、天神	配水池～新栄町～山谷
6月7日	旧金津地区全域、田家2、3丁目	新栄町～金津小～程島～田家
6月11日	草水町2、3丁目、小口、大関、下新、岡田、市新、金屋	配水池～草水～大関～金屋
6月12日	東町1、2、3、金沢町1、2、3、新金沢町、滝谷本町、滝谷町、柄目木、草水町、日宝町、新町1、2の一部、秋葉2の一部、本町1、2、善道町1、2、下興野、北上1、2、3丁目	浄水場～金沢町三方口～配水池
6月13日	新町1、2、3、金沢町1、2、3、柄目木、飯柳、日宝町	金沢町三方口～新町大橋
6月14日	滝谷町、滝谷本町、草水町1丁目、柄目木、飯柳	日揮化学～草水踏切
6月18日	善道町1、2、下興野、北上1、2、3、北上新田、北潟、川口、本町1、2、3、4丁目の一部	新町大橋～本町2十字路～駅 西堤防から〈かたひら町、げんろく小路 たかだや小路、五泉街道交差点
6月19日	本町1、2、3、4、善道町1、2、北上1、2、3、下興野、北上新田、川口、山谷町1丁目の一部 秋葉1、2丁目の一部	配水池～秋葉グランド～正法寺～本町4～本町3～本町2～駅
6月20日	本町1、2、3、4丁目の一部、山谷町1丁目の一部	駅～市役所～商工会館～西大通り～日新電気～第一小学校～堀出神社
6月21日	善道町1、2、下興野、北上1、2、3丁目、北上新田、川口の一部、本町1、2丁目の一部	本町2十字路～桑名医院～下興野～北上1、2、3～山長ストアー～中央診療所
6月25日	秋葉1、2、3、中沢町、田家、吉岡町、新栄町	配水池～一中～新栄町
6月26日	田家1、2、3、吉岡町、中沢町	妙本寺～吉岡町～中沢～田家
6月27日	満願寺、七日町、大蔵、旧荻川全域	浄水場～大島橋
6月28日	旧荻川全域	大島橋～荻川駅前

（注）何町の一部となっている場合は、作業をする配水管の欄をごらんのうえ、影響のある区域を推定してください。その配水管の付近が影響をうけます。

「川」にビニール捨てないで

最近、育苗などの農作業にビニールがさかんに使われています。用途も広く、たいへん便利なのですが、不用となったビニールくずの処分にはまったく困ってしまいますネ。

毎年農作業が始まると、これらのビニールくずが、用排水路などに捨てられてあるのが鳴りとして引用しているが、この「昼も」の「も」には、昼だけではないという暗示がある。即ち、美的想像を可能ならしめている。また前の句の「当分は」が「その当座」とされたため、言葉が生きてきたので、もう説明も不要であろう。

江戸川柳の面白さは、底をよく見かけます。ところがこのなにげなく捨てたビニールくずが、用排水機にまきつき、これがたまりにたまるとその機能が働かなくなって、故障や災害などの発生原因にき、その歩く拍子に引出しの鐶をカタカタカタカタと鳴り響かせながら、暑気あたりを治す妙薬を売り歩く薬屋があり、人々はこれを定斎屋（じょうさいや）又は是斎屋（ぜさいや）などといっていた。

したがって「定斎荷」と言えば、この薬屋の担いでいた薬箪笥のことであって定斎屋が歩くにつれて、この薬箪笥の多くの引出しの鐶がカタカタカタカタと交響楽を奏してくれたので、他の振れ売りのように、声を出して呼び売りをする必要はなかった。

すなわち、歩きながら薬箪笥の鐶の音をさせて置けば、黙っていても、買手の方から寄って来て、呼び止めてくれたのである。

このように、江戸人士は味気ない定斎屋の鐶の音を聞いても、桃色の音響を想像するのであった。

●婚礼の当座のやうな定斎荷　（八九24）

（新潟大学名誉教授）

また、不衛生な環境にもなることがよくあるのです。

不用となったビニールくずは、焼却場へ持ち込むなどして、処理、処分には格段のご協力をお願いします。

古今川柳漫歩 (26)

江戸川柳も、初代川柳の頃の句は、暗示的間接的に表現されていて、一般の人々には、一見しただけでは意味の分り兼ねるものが多かった。また、それだけではなく、江戸時代の風俗習慣を知らないために、いくら考えても見当のつかない場合もあるようである。

例えば、宝暦十二年十月十五日開巻の句、

●花嫁の箪笥の鐶の音のよさ

などになると、花嫁の箪笥の鐶の音が何故良いのかよく分らない。花嫁の箪笥が新しいからでもなさそうである。

だが、右の句が「むつまじい事〳〵」という前句題に附けられた句であることを知り、右の前句題と照らし合わせてみると、新婚時代の若夫婦の特に睦まじいことに関係がありそうだという解釈の手がかりが得られる。更に、文政期の句に

●嫁の智恵箪笥の鐶へ紙を巻き　（九八73）

というのがあるから、これは他の人に聞かせたくない防音工作であるらしいことに気がつくであろう。

桃色の音響

阿達義雄

なお、類句がないかと調査してみると、明和六年十一月十五日開巻の川柳評万句合の前句題の「からみこそすれ〳〵」に附けた句に次のようなのが発見される

●当分は昼も箪笥の鐶が鳴り　尤も、後になると、式亭三馬はその滑稽本の『酩酊気質』に少し之を改めて、

●その当座昼も箪笥の鐶の底迄も解釈をしないで、解釈の余地を残して、それを読者の想像と推理に委せるところにあると言われている。いや、読者は、句解の第一のヒントによって、ハッと気づかなければ野暮とされよう。

●是斎屋が来たかと思ふ新世帯　（八四39）

江戸の日盛りの炎天に笠も被らないで、薬箪笥を担

まだまだ不安

阿賀野川の魚

阿賀野川流域に住む魚は、水銀をどのくらい飲んでいるのか――四十八年度の調査結果が、先ごろ県水銀対策本部から発表されました。

これによると、魚類の水銀保有量は、全体から見ると徐々に減ってきてはいますが、水銀保有量の高い下流の魚は、依然として水銀が減っていないことがわかりました。

したがって底棲性（川底のほうにいる魚）でしかも高齢魚（体長三十センチ以上）は、長期間しかも大量に食べないよう十分注意しましょう。

国保や年金保険料など
わずらわしい毎月納付に
前納制度を
ご活用ください

SONY. PIONEER. TRIO. ONKYO.
DIATONE. VICTOR. Aurex. AIWA.
オーディオのことならゼヒ一度ご相談下さい。
ソニーとステレオ専門の店
オーディオまるよし
新津市本町1丁目（駅前通）TEL(2)1898

SANYO・ナショナル・ビクター・SONY
新町2丁目
田村電機商会
TEL 2-0653